

大洲病院ニュース

OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院
編集：市立大洲病院
広報委員会

〒795-8501
大洲市西大洲甲570番地
TEL0893-24-2151
FAX0893-24-0036



御幸の橋（河辺）

市立大洲病院の理念

患者様に信頼される良質で安全な医療を提供し、地域社会に貢献します。

〈第4号の主な内容〉

- 診療情報の提供および個人情報の保護に関するお知らせ 2 P
- 健康インフォメーション③ 3 P
- 第1回市立大洲病院ICLSコースを終えて 4 P

- くすりの適正使用について 5 P
- 外来診療医師一覧表 他 6 P

市立大洲病院公式ホームページ

<http://www.shikoku.ne.jp/och/>

診療情報の提供および個人情報の保護に関するお知らせ

当院は、患者様への説明と納得に基づく診療（インフォームド・コンセント）および個人情報の保護に積極的に取り組んでおります。

診療情報の提供

ご自身の病状や治療について質問や不安がおりになる場合は、遠慮なく、直接、担当医師または看護師に質問し、説明を受けてください。この場合には、特別の手続きは必要ありません。

診療情報の開示

ご自身の診療記録の閲覧やコピーをご希望の場合は、事務課へ開示をお申し出ください。但し、本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害する恐れがある場合等、法的に開示できない場合があります。なお、開示・コピーに必要な実費をいただきますので、ご了承ください。

個人情報の内容訂正・利用停止

個人情報とは、氏名、住所等の特定の個人を同定できる情報を言います。当院が保有する個人情報が事実と異なるとお考えになる場合は、内容の訂正・利用停止を求めることができます。担当医師または事務課へお申し出ください。調査の上、対応いたします。

個人情報の利用目的

個人情報は以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を越えて利用いたしません。病院運営、教育・研修、行政命令の遵守、他の医療・介護・福祉施設との連携等のために、個人情報を利用することがあります。また、外部機関による病院評価、学会や出版物等で個人名が特定されないかたちで報告することがあります。当院は卒後臨床研修病院および医療専門職の研修病院に指定されており、研修・養成の目的で、研修医および医療専門職の学生等が、診療、看護、処置などに同席する場合があります。

ご希望の確認と変更

治療、外来予約（診察・検査・処置・指導等）や入院予定の変更、療養給付・保険証等の確認等、緊急性を認めた内容について、患者さんご本人に連絡する場合があります。

外来等での氏名の呼び出しや、病室における氏名の掲示を望まない場合には、お申し出ください。

電話あるいは面会者からの、部屋番号等の問い合わせへの回答を望まない場合には、お申し出ください。

身体上または宗教上の理由等で、治療に関して特別の制限やご希望がある方はお申し出ください。

一度出されたご希望を、**いつでも変更することが可能です**。お気軽にお申し出ください。

相談窓口

ご質問やご相談は、各部署責任者または事務課へお問い合わせください。

平成18年4月1日

市立大洲病院院長

健康インフォメーション③

乳腺症について



市立大洲病院
外科部長 李 俊 尚

乳腺が張る、痛むといった症状にお悩みの女性はかなり多いようです。

月経前の生理的な症状によるものが代表的で、また、診察しても病的な異常のみられない方も多いのですが、**乳腺症**によって起こる人も少なくありません。

乳腺症は、乳腺の良性疾患で最も多くみられるもので、30～50歳代に多く、早い人では、20歳代からみられます。通常、閉経後は消退していきます。

原因：

乳腺はエストロゲンという女性ホルモンによって影響を受けていますが（生理前にお乳が張る、痛むのはこのためです）、この刺激に対し、乳腺が過剰に反応し、

様々な種類の増殖状態が慢性的におこっている状態です。

病気としてとらえるよりも、一種の体質や状態と考えてもよいかも知れません。

症 状：

典型的な症状は**乳腺の硬結**で、特に乳房全体をつかむように触ると乳腺全体が、漠然とした固いかたまりとして触知できます。しかし、人差し指からくすり指までの3本の指のはら側で適度に圧迫触診すると、比較的柔らかくなるのが特徴です。乳がんのような限局性のしこりとは区別できます。

しかし、一部分が特に硬くなり、しこりと紛らわしい局所変化の強い場合もあります。

その他の症状として、生理前に増強する**乳腺の痛み**がありますが、生理周期と関係なく痛む方もいます。程度はほとんど痛くないものから、薬物治療を必要とするものまで、様々です。

また、**乳頭分泌**もときどきみられ、透明ないし混濁した黄色～褐色調の液が一般的です（乳腺症と直接の関係はありませんが、赤色～黒色調の場合は、血液が混じっていると考えられ、乳管内の腫瘍性病変を疑う必要があります）。

診 断：

乳腺症が疑われたり、検診で指摘された場合、やはり、専門医での診断が必要です。触診、乳房のレントゲン（マンモグラフィー）、超音波検査による精密検査での確認、乳がんなど他病変の合併の有無を調べる必要があります。

治 療：

基本的には治療の必要はなく、一部の痛みが特に強い方では、一般的な鎮痛剤や抗ホルモン剤の投与で対処します。ほとんどの方は経過観察で十分です。

注意点：

乳腺全体が固めになるため、その中に乳癌が合併した際に、発見しにくくなることがあります。

また、一般的に乳腺症の方が、正常乳腺の方と比べて特になんか化しやすいということはありませんが、ごく一部の人（約4%）が、正常に比べて4～5倍のがん化する危険性を持つ変化を含むといわれています。

いずれにせよ、現在、日本人女性の25人に1人が、一生のうちに乳がんになるといわれている状況をみると、乳腺症のある、なしに関わらず、自己検診や地域、病院などでの定期的な検診が必要と考えられます。

乳がんについては、また、別の機会に譲ります。

第1回市立大洲病院ICLSコースを終えて

第1回市立大洲コースコーディネーター

看護師 堀江都子

平成17年11月6日(日)大洲市総合福祉センターにおいて、「突然の心停止に対して最初の10分間の適切なチーム蘇生を習得する」ことを目的とし、医療関係者を対象に第1回市立大洲病院ICLSコース(日本救急医学会認定ACLS基礎コース)を開催しました。



受講者は、医師を含む24名、見学者12名で、県立中央病院・松山市民病院の麻酔科医師であるコースディレクターをはじめ、派遣認定インストラクター、院内外のコーススタッフ計57名の協力を得て終日熱心な講習会となりました。また、大洲消防署からたくさんの救命士・救急隊員の方に応援を頂きました。

講習内容は午前中、日本救急医学会規定のスキルであるBLS(人工呼吸・心臓マッサージ・AED/自動体外式除細動器)、気道と換気(挿管・BVMでの換気)、モニター(除細動・心停止の波形診断)について講義を受けた後、午後は、1次救命処置と2次救命処置のアプローチにつ



いて4ブースに分かれて実施講習を行いました。

コースディレクターの先生方はじめ、認定インストラクターの先生方からも「今回の大洲コースはとても楽しく良いコースでしたので、是非第2回も!!」とコメントを頂き、緊張の中にも楽しい講習会ができたのではないかと思います。

私達医療従事者はいつ何処で心肺停止の患者様と遭遇するかもしれません。患者様を救命する為にはまず見つけた自分!が「発見者による心肺蘇生法」をしなければならないのです。日



頃の繰り返されるトレーニングにより、心肺停止の患者様と遭遇した時の焦りを少し軽減でき、また救命率の向上が期待できるのではないかと思います。

今後も県内外と各地でICLS(ACLS)のコースが開催されます。最後になりましたがコース運営にご協力頂きました皆様、本当に有難うございました。

くすりの適正使用について

くすりは、症状の改善や病気を治すといった効果があります。

しかし、効果と同じように副作用も併せもっているため、くすりについてのベネフィットとリスクをしっかりと知っておく必要があります。

くすりのベネフィットとは、くすりを使用した場合に得られる「有益な作用」のことです。

また、くすりのリスクとは、くすりを使用したときに起こるかもしれない「望んでいない作用（副作用）」のことです。

従って、くすりはベネフィットとリスクのバランスを考えながら使う必要があります、「くすり」に関する情報（効果、使用法、使用量、予想されるリスクなど）が大きく影響します。

これらの情報を理解して、使用法、使用量を守ることで「くすり」本来の効果が生れます。

くすりのリスク

くすりは、リスクをできるだけ抑えて、最大限のベネフィットが得られるように工夫されています。しかし、使用法、使用量、使う人の体質、のみ合わせ（他のくすり、食べ物、飲み物）によっては、ベネフィットとリスクのバランスが崩れ、副作用が起こる場合があります。

副作用と思った場合は服薬を中止して、担当医師または薬剤師にご相談ください。

また、くすりの副作用と判断された場合には、くすりの名前を記録して、今後服用しないように注意してください。

くすりのベネフィット

決められた服用法、服用量をきちんと守ることで最大限のベネフィットを得ることができます。

また、身体的、精神的苦痛が軽減され、治療期間が短縮されることで経済的效果が上がるということもベネフィットに含まれます。

服用時間の目安

- 食前………食事の約30分位前
- 食後………食事後約30分以内
- 食間………食事後約2時間後
- 食直前……食事前5分以内
- 食直後……食事が終わったらすぐに



外 来 診 療 医 師 一 覧 表

診療科名		月	火	水	木	金
内 科	1 診	谷口	谷口	谷口	谷口	谷口
	2 診	中西	中西	中西	中西	中西
	3 診	荒木	二宮	武智	荒木	二宮
神 経 内 科	1 診	休診	休診	休診	矢部	休診
外 科	1 診	李	李	鈴木	李	鈴木
	2 診	鈴木	鈴木	李	鈴木	李
整 形 外 科	初 診	田口	竹本	田口	竹本	田口
	再 診	竹本	田口	竹本	田口	竹本
産 婦 人 科	1 診	吉本	城戸	吉本	吉本	吉本
泌 尿 器 科	1 診	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
	2 診	宮内	宮内	宮内	宮内	宮内
眼 科	1 診	圓尾	圓尾	圓尾	圓尾	圓尾
小 児 科	1 診	休診	休診	休診	休診	愛大からの 派遣医師
耳 鼻 咽 喉 科	1 診	田口	休診	兵頭	休診	西田
皮 膚 科	1 診	休診	丸山	休診	佐山	岡崎

(4月1日付で医師の交替がある予定です)

- 診療受付時間は、午前8時15分から午前11時30分までです。
- 再来予約の患者様は、予約時間にご来院ください。
- 休診日は、土曜日・日曜日、祝日及び12月29日から翌年1月3日までとなっております。
- 担当医師は、変更する場合がありますので必ず事前に電話にてお問い合わせください。

講座のご案内 —場所：市立大洲病院 3階会議室—

講座名	糖尿病教室	母親教室
日 時	毎週金曜日 (計6回で1クール) 午後3時～午後4時	毎週木曜日(月3回) 午後1時30分 ～午後3時30分
問い合わせ先	内科外来(患者様だけでなく一般の方の参加も可)	産婦人科外来(要予約)

編 集 後 記

大流行が心配されたインフルエンザが、例年程度で終息に向かっています。まずは一安心ですが今後、Aソ連型やB型の小流行の恐れがあるとの情報があります。

日頃から手洗い、うがいに心がけて下さい。